



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2019.12

No. 429

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



2019 年秋 タカの渡り調査結果

日本野鳥の会埼玉 調査部 ・ IT委員会

● 調査部主催の調査から

調査部では毎年9月に、会員の皆様と共にサシバ、ハチクマなどのタカの渡り調査を行っています。今回は、9月22日(日)に中間平(寄居町、担当:千島康幸)で、9月23日(月・祝)に天覧山(飯能市、担当:小林みどり)で行いました。調査結果を下の表に示しました。調査には担当含め延べ47名の方々にご協力いただきました。皆様、ありがとうございました。

*: 渡らなかった個体数を除く

観察場所	観察時刻	天候	観察された個体数(*)		その他のタカ類	参加者数
			サシバ	ハチクマ		
中間平	9月22日 8:00-12:00	曇後 晴	31	0	ハチクマ1渡らず、オオタカ1、ツミ3、ノスリ、トビ、ハヤブサ1	31
天覧山	9月23日 9:00-12:00	曇後 晴	0	0	サシバ5渡らず、オオタカ2、ノスリ2、トビ	16

調査報告・天覧山(さいたま市 小林みどり)

昨日は天気予報が見事にはずれ、秋空が広がった。本日も予報がはずれることを望むが、調査開始時、上空は厚い雲に覆われ、前方の視界もゼロ。しばらくは目の前の木々にやってくるメジロやシジュウカラを眺めて過ごす。

10時を過ぎる頃から日が射し始め、視界を覆っていたガスが消え、雲の合間から青空がのぞく。しかし雲の流れが速い。しかも東へ西へ、南へ北へ、勝手放題に動き回る。展望台は無風であるが、上空はかなりの乱気流であることが見て取れる。それにもかかわらずタカ柱?と思ったら、ハシブトガラス7羽のカラス柱であった。サシバ1羽がようやく登場、しかし渡らずに降下。

11時20分過ぎ、南側や西側の山稜にサシバが次々に現れたが、すべて木にとまっている。飛び立っても、また戻る。あの乱気流では渡りたくても渡れまい。彼らはどんな気持ちで天気回復を待つのだろう。ふと、そんなことを思った。

参加者

<中間平> 千島康幸、鶴飼喜雄、浅見 徹、青山紘一、今村富士子、阿部茂雄、小出 博、鈴木美智代、鈴木辰雄、吉川幸子、小野沢満、井上朝雄、下田恵子、千葉秀男、千葉典子、秋葉芳男、柴田和見、近藤龍哉、小林みどり、浅見茂春、山口龍彦、高堀幸夫、高崎康晃、松井昭吾、中村弘、西川多仁恵、高橋洋一、森 重雄、吉原俊雄、吉原早苗、吉木 務

<天覧山> 小暮年男、東条仁美、大澤さゆり、高橋由美子、野津弘毅、浅見 徹、長谷川裕子、野沢六治、小林みどり、佐久間博文、湯本豊光、小出 博、藤澤洋子、吉原俊雄、吉原早苗、佐藤千賀子

● 2019 年秋・県内各地のタカの渡り状況

☆ 概況

調査部主催の調査とは別に県内各所で、多くの会員の皆様、あるいは当会以外の団体がシーズン中、頻りにタカの渡り観察を行っています。当会のホームページでは、県内で確認されたタカの渡りの情報を募集しており、投稿された情報を出来るだけ早く「速報」のかたちで、観察場所を示す地図とともに公開しています。

2019年は、そのホームページに7月30日から10月4日の間に、12ヶ所、90件の投稿情報がありました。結果を右ページの図と表に示しました。最高個体数は9月26日、中間平での62羽でした(サシバ59羽、ハチクマ3羽)。

また、調査部主催の調査結果を含めると、非渡りを含む積算個体数は304羽、記録された種類は2科7種、その内訳と個体数はサシバ267羽(10ヶ所)、ハチクマ18羽(中間平、皇鈴山)、ツミ7羽(蓮田市黒浜2、さいたま市 大宮花の丘農林公苑5)、ハイタカ3羽(蓮田市黒浜)、



野鳥情報

岩槻区本丸4丁目 ◇3月14日、元荒川で嘴が黄色で、足も黄色のニシセグロカモメが浅瀬にいた。今回は写真も撮れて確認できた(内田克二)。

川越市 伊佐沼 ◇3月19日午後、ヒドリガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、キジバト、カワウ、ダイサギ、コサギ、コチドリ、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、オオタカ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワセミ、ツバメ、ドバト(嶋田富夫)。

さいたま市大宮区 大宮第二公園(53396591)
◇3月20日、公園南端西側の見沼代用水西縁沿いの高木の天辺付近に見慣れないシルエットの鳥が1羽。双眼鏡で確認すると、ホンセイインコ(多分、ワカケホンセイインコの♀)。昨年9月にもこの辺りで見かけたが、その時も1羽。本来、群れで行動するインコ類が、単独では寂しかりょうに。上野の山に帰ったら如何(浅見 徹)。

さいたま市西区 西新井景観緑地(53397436)
◇3月27日午前8時45分頃、サシバ4。同9時30分頃、サシバ1。他にカルガモ約20、キジバト、オオタカ、カワセミ1、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ2、ウグイス、エナガ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、シメ、ホオジロ、アオジなど。今季初のサシバの春の渡りを観察できた。4月16日午前、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、ダイサギ、ツミ1、オオタカ、カワセミ、カケス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、シメ、ドバト、ガビチョウ。ヒヨドリ50位が10群ほど通過した。4月17日午前、カルガモ、カイツブリ、キジバト、アオサギ、ハイタカ1、オオタカ、カワセミ2、カケス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、エナガ、メ

ジロ、ムクドリ、シロハラ、ヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、シメ、アオジ、ドバト、ガビチョウ。ヒヨドリ50~100が、4群ほど、通過した。(嶋田富夫)。

さいたま市西区 秋葉の森総合公園とその付近(53397425) ◇4月21日、キジ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、アオサギ、ダイサギ、オオタカ、コゲラ、サンショウクイ、モズ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、エナガ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、キビタキ、オオルリ、スズメ、ハクセキレイ、シメ、ガビチョウ、ドバト(嶋田富夫)。

さいたま市桜区栄和(53396428) ◇5月15日、水田でアカエリヒレアシシギ1(大井智弘)。

さいたま市西区 大宮花の丘農林公苑とその周辺(53397436) ◇5月27日午前、サンコウ

チョウ♀1、カワセミ♂♀、カルガモ、キジバト、コゲラ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、エナガ、メジロ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、ホオジロなど。

5月31日、サンコウチョウ♀1、カワセミ♂♀、カルガモ、キジバト、アオサギ、コゲラ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、エナガ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイなど。7月24日午前、カルガモ、キジバト、アオサギ、オオタカ、カワセミ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ツバメ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、ホオジロなど。7月30日午前、カルガモ、キジバト、オオタカ、サシバ、カワセミ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ツバメ、ムクドリ、スズメ、カワラヒワ、ホオジロ、ドバト。今季初のサシバの渡りを確認。西側の林から飛び上がり、公園の上空を巡回しながら上昇して南南東方面へ(嶋田富夫)。

さいたま市岩槻区高曽根 ◇6月2日午後、キジ、カルガモ、キジバト、ダイサギ、コサギ、ケリ、コチドリ、ハシブトガラス、ヒバリ、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイなど(嶋田富夫)。

◇7月16日、最近減っているコサギ夏羽1。他にチュウサギなど。8月9日、狭い1枚の休耕田にサギが集まっている。その数約

50. ダイサギ5、コサギ7、あとはチュウサギだった(鈴木紀雄)。

さいたま市緑区 大谷口公園(53396525) ◇
6月11日午前6時30分頃、グラウンドに2羽のコチドリがおりてきた(大井智弘)。

さいたま市浦和区 白幡沼 ◇6月13日午前、カワセミ成鳥2、若鳥6。カルガモ、カイツブリ、キジバト、ゴイサギ、バン、ハシブトガラス、ツバメ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、ドバト(嶋田富夫)。

さいたま市大宮区高鼻町 ◇6月14日、大宮公園ポート池でカイツブリ親鳥2、雛4。7月26日午後、氷川神社参道でキジバト、ササゴイ、ツミ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ツバメ、スズメ、ドバト(嶋田富夫)。

上尾市小敷谷 ◇6月19日午前、コチドリ成鳥2、雛4(嶋田富夫)。

熊谷市榎町 ◇6月23日、荒川大橋の上流の河原でコアジサシ。2羽が飛んでいて、河原に雛3。河原と川の境辺りにいた。草陰にかくれたり、水浴びもしていた。1羽が特に大きかった。7月8日、成長した雛1羽に親鳥が小魚を与えるのを確認する。雛は1羽だけのようだった(山本恵美子)。

三郷市早稲田公園 ◇6月24日、ゴイサギを観察した(川畑優美子)。

さいたま市緑区 芝川第一調節池(53396547)
◇7月3日午後2時頃、芝川第一調節池の芝川沿い、水門付近でホトトギスのさえずりを聞いた(大井智弘)。

さいたま市岩槻区横根 ◇7月12日、ツバメ数羽とともに飛ぶヒメアマツバメ1(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区新方須賀 ◇7月16日、見かけることが少なくなったゴイサギ幼鳥1がポツンと電線にとまっていた(鈴木紀雄)。

さいたま市緑区上野田 ◇7月19日、電線にとまるムクドリ類18。よく見るとムクドリ12とコムクドリ6だった。コムクドリ今季初認(鈴木紀雄)。

越谷市増林 東越谷調整池 ◇7月20日、ヨシゴイの雛5を確認した(山部直喜)。

蓮田市笹山 ◇7月24日、1枚の休耕田にダ

イサギ15、チュウサギ約25、コサギ3。ゴイサギ成鳥6が飛んで行く。7月31日、同所でチュウサギ33、ダイサギ9、アオサギ2、コサギ1、カルガモ15、バン1。そしてうれしいことにタカブシギ2が採餌していた(鈴木紀雄)。

戸田市 彩湖道満グリーンパーク駐車場 ◇
7月29日、駐車場でできた水たまりにコムクドリ幼鳥らしき鳥が3羽(新田和美)。

蓮田市黒浜 ◇7月31日、かなり草の茂った休耕田で採餌中のゴイサギ幼鳥1。畔ではカルガモ14が休憩中(鈴木紀雄)。

春日部市倉常 ◇8月1日、水の入った休耕田でコチドリ13。他にダイサギ、チュウサギ、アオサギ、カルガモなど(鈴木紀雄)。

加須市道目(54391582) ◇8月3日、休耕田でコチドリ50以上(嶋田富夫)。

川越市久下戸周辺 ◇8月4日、コチドリ15、アオアシシギ1(星野紫乃)。

川越市 伊佐沼 ◇8月4日、コチドリ20(星野紫乃)。

蓮田市 西城沼公園周辺 ◇8月5日、サンバ2が旋回。内1羽がムクドリ50±に突っ込むが失敗。ここでの今季初認。8月8日、部分白化のハシボソガラス、まだ健在。他のハシボソガラス3~5と行動を共にしていた。8月9日、やかましく鳴くカラス5~6に追われて、オオタカが屋敷林から飛び出した(長嶋宏之)。

さいたま市岩槻区野孫 ◇8月9日、草が刈られた水路にアマサギ約30。他にチュウサギ、ダイサギ。遠方をケリ1が飛ぶ(鈴木紀雄)。

桶川市舎人新田調整池 ◇8月24日午前6時30分、ゴイサギ80。やっと例年の数に戻る(小貫正徳)。(本情報については、前月号p12の「ごめんなさいコーナー」の記述を全て取り消し、改めて掲載します。申し訳ございません。編集部)

表紙の写真

スズメ目ヒタキ科キビタキ属ムギマキ

10月26-27日の戸隠探鳥会で、マユミに飛来したムギマキの雌です。

石井健次(蓮田市)



行事案内



カシラダカ (編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：中学生以下無料、会員 100 円、一般 200 円。

持ち物：健康保険証、筆記用具、雨具、飲み物。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合、正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：12月1日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

交通：JR 高崎線 北本駅西口から、北里大学メディカルセンター行きバス 8:38 発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、廣田、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大畑、岡安、近藤、柴田、千葉、飛田、永野、村上(政)、吉原(早)

見どころ：毎年来てくれるジョウビタキ。今年は♀タイプ？ それとも成熟した♂？ 両方とも居てくれることを願って、林や湿原で鳥を探します。ベニマシコ、カシラダカ、アオジにも期待。池ではカワセミも。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：12月1日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR 浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き 8:37 発で「念仏橋」下車。

担当：須崎、伊藤、大井、高崎、手塚、野口、藤田、若林

見どころ：いよいよ冬鳥シーズン突入です。一昨年は 44 種、昨年は 41 種も観察できました。調節池を一周してカモ類・猛禽類を中心に観察。アリスイにも会えるかも。

注意：①コースの途中にトイレはありません。

②天候によってはコースを変更します。

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：12月5日(木) 平日

集合：午前8時10分、東武日光線 柳生駅前。

または午前8時30分、中央エントランス駐車場。

交通：東武線 新越谷 7:19→春日部 7:36→南栗橋で新栃木行きに乗り換え柳生 8:07 着。

または JR 宇都宮線 大宮 7:03→栗橋 7:38 着、東武線 新栃木行き 7:57 発に乗り換え柳生 8:07 着。

解散：正午ころ、谷中村史跡ゾーン。

担当：小林(み)、植平、楠見、田中、菱沼(洋)、藤澤、吉原(早)、吉原(俊)

見どころ：遊水地にワクワクの季節が到来！ 谷中湖のカモやカイツブリ、ヨシ原のチュウヒ、小鳥類。そして、いつもの鉄塔で“あの方”がきっと待っていてくれるでしょう。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：12月8日(日)

集合：午前9時40分、秩父鉄道 大麻生駅前。

交通：秩父鉄道 熊谷 9:21 発、または寄居 8:59 発に乗車。

担当：新井、大畑、倉崎、田島、千島、飛田、中川、村上(政)、茂木

見どころ：昨年は遠くに止まった猛禽の識別で盛り上がりましたね。今年は頭上を舞ってくれるといいのですが。冬の小鳥は何が待っていてくれるでしょう。

加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：12月12日(木) 平日

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線 花崎駅南口階段下。集合後徒歩で現地へ。または午前9時、加須はなさき公園管理事務所前。
交通：東武伊勢崎線 春日部 8:16→久喜 8:29→花崎 8:36。または JR 宇都宮線 大宮 7:53→久喜 8:15 で東武伊勢崎線乗り換え。

共催：加須はなさき公園管理事務所
担当：長嶋、相原(修)、相原(友)、植平、竹山、茂木、渡邊

見どころ：青毛堀川沿いから園内を歩き、冬鳥のツグミ、亜種オオカワラヒワ、ヒドリガモの若鳥などを探します。チョウゲンボウが飛んでくれたら、ラッキー♪です。

山梨県・清里高原～長野県・野辺山高原レディース探鳥会(要予約)

期日：12月13日(金)～14日(土)

詳細は、11月号をご覧ください。

さいたま市・岩槻文化公園探鳥会

期日：12月14日(土)

集合：午前9時10分、岩槻文化公園の国道16号側駐車場。

交通：東武アーバンパーク線 岩槻駅東口から朝日バス 8:43 発しらこぼと水上公園行で「村国入口」下車。バス停からご案内します。

担当：長野、青山(美)、石井(健)、石川(敏)、市原、内田、鈴木(誠)、鈴木(紀)、鈴木(庸)、長嶋、藤原

見どころ：冬本番を迎えるなか、トイレが完備された公園内や平坦な元荒川沿いの道をゆったり歩いて林の鳥、水辺の鳥、ヨシ原の鳥たちを観察しましょう。

注意：岩槻駅での案内人の出迎えはありません。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：12月15日(日)

集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
交通：JR 北浦和駅東口、正面信号を左側から渡り、50 m先左手バスターミナルから

8:23 発東武バス「さいたま市立病院行」で終点下車。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：須崎、青木、浅見(健)、浅見(徹)、楠見、小菅、小林(み)、畠山

見どころ：2019 年も残り2週間余り。“師走の忙しさ”をしばし忘れて、のんびり鳥見を。珍しい鳥が出る訳ではありませんが、普段見慣れた鳥も、美しく見られるかも。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：12月15日(日)

集合：午前9時20分、森林公園南入口前。
交通：東武東上線 森林公園駅北口から熊谷駅南口行きバス 9:00 発で「滑川中学校」下車。ひとつ手前の「森林公園南口入口」は、通過してください。

費用：参加費以外に入園料大人450円、中学生以下無料、65歳以上210円(要年齢確認)。
担当：中村(豊)、大畑、岡安、佐久間、藤掛、藤澤、松下

見どころ：森林公園の鳥見シーズンが始まります。シロハラ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、ビンズイ、アオジなどは到着しているのでしょうか。カラ類の混群の中にエナガも見つけましょう。カモの飛来状況も気になります。山田大沼まで、ややアップダウンのある片道約3kmを歩きます。

埼玉 Young 探鳥会 狭山市・入間川

期日：12月15日(日)

集合：午前9時30分、西武新宿線 狭山市駅西口。

解散：昼食後、午後1時30分ころ、稲荷山公園。

担当：島崎、高崎、廣田、村上(将)

見どころ：Young 探鳥会は若者、お子様連れなどをメインターゲットにした探鳥会です。入間川の河川敷と稲荷山公園で、河川敷・林の鳥を狙います。イカルチドリ、ジョウビタキ、ヤマガラ等に期待！猛禽も高確率で出現します。

戸田市・彩湖探鳥会

期日：12月18日(水) 平日

集合：午前9時30分 荒川彩湖公園駐車場
交通：JR 武蔵野線 南浦和 8:48→西浦和 8:53
西浦和駅から集合地まで担当が案内します。
担当：小林(み)、高崎、石塚(敬)、石塚(真)、今村、藤田

見どころ：今年も鉄塔の上のノスリ、藪の中のベニマシコに会えるかな？ 湖では何種類のカモやカイツブリが見られるかな？

幸手市・宇和田公園探鳥会

期日：12月21日(土)

集合：午前9時20分、宇和田公園駐車場。
交通：東武伊勢崎線 東武動物公園駅東口から境車庫行き 8:50 発のバスで「上宇和田」下車。北方向に徒歩5分。
担当：佐野、植平、小林(み)、佐藤(宏)、竹山、村上(政)

見どころ：令和元年最後の探鳥会。昨年は見られなかったシラコバトを探して、公園の周辺を歩きます。

『しらこばと』袋づめの会

とき：12月21日(土) 午後3時～4時ころ
会場：会事務局 108号室

年末講演会

日時：12月22日(日) 午後1時開場
会場：埼玉会館2階ラウンジ
交通：JR 浦和駅西口から県庁通りを西へ徒歩6分。県庁通り沿いの大きな階段を右に見て通り過ぎ、次の右側、少し下がった車寄せにある入口からお入りください。
プログラム：第1部 13:30～14:45 会員たちの

『映像で振り返るこの1年』他。

第2部 15:00～16:30 講演 日本野鳥の会会長・上田恵介氏(立教大学名誉教授)『野鳥との出会い、野鳥の会の思い出(仮)』。

第3部 17:15～19:30 懇親会(会場未定)。
参加費：100円(懇親会は5,000円の予定)。
見どころ&聞きどころ：今年6月に日本野鳥の会会長に就任された上田先生に、ご幼少の時から野鳥や野鳥の会とのかかわりあいなどをエピソードを交えてお話しいただきます。

◆第1部の映像・画像を募集中です。あなたの傑作をビデオ、スライドショーは5分程度に編集、スライドは12枚程度でお申し込みください。映像・画像、懇親会の申込みはメールで fukyubu@wbsj-saitama.org まで。

さいたま市・さぎ山記念公園探鳥会

期日：1月4日(土)

集合：午前10時10分、さぎ山記念公園入口。
交通：大宮駅東口⑦番バス乗り場 9:35 発「浦和学院高校」行き、または東浦和駅③番バス乗り場 9:42 発「さいたま東営業所」行きで、「さぎ山記念公園」下車。
担当：大井、浅見(徹)、海老原、宇野澤、河邊、楠見、工藤、小林(み)

見どころ：旧浦和市上野田(野田の鷺山)にサギ類が集団営巣を始めたのは江戸時代徳川吉宗の時代。その後、1957(昭和32)年には親鳥、雛あわせて3万羽を数えたが、1972(昭和47)年には1対も巣を作ることはなかった。そんな歴史に思いを馳せながら新年最初の探鳥会にご参加ください。



昨年1月4日のさぎ山記念公園探鳥会(編集部)

2020年1月～4月の行事予定

探鳥計画を立てるのにご利用ください。変更されることもありますので、確定情報はその月の会誌『しらこぼと』の行事案内でご確認ください。

月	日	曜日	探鳥地など	
1	4	土	さいたま市 さぎ山記念公園	
	5	日	深谷市 仙元山公園	
	5	日	さいたま市 彩湖	
	9	木	久喜市 久喜菖蒲公園 (平日)	
	11	土	松伏町 まつぶし緑の丘公園	
	12	日	熊谷市 大麻生 [定例]	
	12	日	さいたま市 民家園周辺 (臨時)	
	12	日	千葉県 ふなばし 三番瀬海浜公園	
	13	月祝	滑川町 武蔵丘陵森林公園	
	13	月祝	春日部市 内牧公園	
	18	土	加須市 渡良瀬遊水地	
	18	土	群馬県板倉町 渡良瀬遊水地 Young	
	18	土	さいたま市 大宮市民の森 (定点・会員限定)	
	19	日	さいたま市 三室地区 [定例]	
	22	水	羽生市 羽生水郷公園 (平日)	
	25	土	蓮田市 黒浜沼	
	26	日	狭山市 入間川 [定例]	
	26	日	長瀨町 宝登山	
	2	1	土	所沢市 狭山湖
		1	土	嵐山町 菅谷館都幾川
2		日	さいたま市 民家園周辺 [定例]	
2		日	北本市 石戸宿 [定例]	
2		日	滑川町 武蔵丘陵森林公園	
5		水	さいたま市 彩湖 (平日)	
9		日	熊谷市 大麻生 [定例]	
11		火祝	狭山市 智光山公園	
13		木	加須市 加須はなさき公園 (平日)	
15		土	上尾市 丸山公園	
15		土	さいたま市 岩槻文化公園	
16		日	さいたま市 三室地区 [定例]	
16		日	志木市 柳瀬川	
16		日	さいたま市 見沼自然公園 または 蓮田市 黒浜沼 (ヤング)	
20		木	滑川町 武蔵丘陵森林公園 (平日)	
22-23		土-日	リーダー懇親会・北茨城 (予約)	
24		月祝	本庄市 坂東大橋	
26		水	さいたま市 彩湖 (平日)	
29		土	行田市 さきたま古墳公園	
3		1	日	蓮田市 黒浜沼
	1	日	寄居町 玉淀河原	
	3	火	滑川町 武蔵丘陵森林公園 (平日)	

3	7	土	さいたま市 見沼自然公園 (見沼たんぼクリーン大作戦)
	7	土	所沢市 狭山湖
	7	土	千葉県 銚子漁港 (予約)
	8	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	8	日	さいたま市 大宮公園～市民の森
	13-14	金-土	東京都 八丈島航路 (予約)
	14	土	栃木県 日光東照宮裏山
	15	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	18	水	羽生市 羽生水郷公園 (平日)
	19-20	木-金	東京都 八丈島航路 (ヤング・予約)
	20	金祝	松伏町 松伏記念公園
	21	土	秩父市 秩父ミュージアムパーク
4	22	日	狭山市 入間川 [定例]
	29	日	加須市 渡良瀬遊水地
	5	日	北本市 石戸宿 [定例]
	5	日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
	5	日	長瀨町 宝登山
	8	水	東京都 高尾山植物観察会 (平日)
	11	土	羽を知る会 (ヤング・予約)
	12	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	12	日	千葉県野田市 こうのどりの里
	18	土	東京都 葛西臨海公園
	19	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	19	日	春日部市 内牧公園
	19	日	さいたま市 秋ヶ瀬公園 (ヤング)
	22	水	さいたま市 秋ヶ瀬公園 (平日)
	25	土	栃木県 小倉山森林公園
	26	日	北本市 石戸宿 (臨時)
	27	月	さいたま市 大宮第二公園 (平日・早朝)
	29	水祝	さいたま市 大久保農耕地 (シギ・チドリ類調査)
5	9	土	長野県 中軽井沢 (レディース)
	9-10	土-日	秩父市 中津川溪谷 (予約)
	16-17	土-日	栃木県 奥日光 (予約)
	23-24	土-日	長野県 戸隠高原 (予約)

「こんな鳥を見たい!」という方へ

日本野鳥の会埼玉ウェブサイトのトップページ左側のメニューの中に「探鳥会出现鳥検索」というのがあります。これは、最近5年間(現在は2014～2018年)の県内探鳥会について“どんな鳥がどこで”出たのかを調べられるデータベースです。あなたの見たい鳥を指定すると、どこの探鳥会で出たのかが即座に判ります。鳥を「科」から指定するのがちょっとマニアックです。なお、名前がない鳥は、出ていないということです。



5月12日(日) 栃木県 奥日光(戦場ヶ原)

参加: 52(会員45)名 天気: 晴

オシドリ マガモ カルガモ コガモ ホシハジロ キジバト カワウ アマツバメ オオジシギ トビ ノスリ コゲラ アカゲラ ハヤブサ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス コガラ ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ウグイス エナガ メボソムシクイ エゾムシクイ センダイムシクイ ゴジュウカラ キバシリ ミソサザイ カワガラス コマドリ ノビタキ コサメビタキ キビタキ ニュウナイスズメ キセキレイ ホオアカ アオジ (39種) 赤沼バス停で、早くもキビタキのお出迎え。青木橋まではキビタキやアオジを見ながら進む。見晴らしの良い所では、ノビタキを見たり、オオジシギの声を聞いたり出来た。青木橋から小田代橋の間の林では、キバシリやゴジュウカラ等、埼玉であまり見ることのない鳥をじっくり。小田代橋から湯滝まではキビタキやミソサザイの美声を堪能。(入山 博)

6月9日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 10(会員9)名 天気: 曇

コジュケイ キジ キジバト カワウ ホトトギス コチドリ コゲラ チョウゲンボウ ハヤブサ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ ホオジロ (24種) (番外: ガビチョウ) ムクドリの幼鳥たちが桑の実を啄み、ツバメが低く飛び回る。コジュケイ、キジ、ウグイス、ホトトギス、そしてガビチョウが競うように囀る。オオヨシキリは聞けなかったが、メジロの巣立ち雛も見られた。(新井 巖)

6月15日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 9名

海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、佐久間博文、志村佐治、藤掛保司、三ツ矢正安、吉原早苗、吉原俊雄

6月16日(日) さいたま市 三室地区

参加: 48(会員32)名 天気: 晴

キジ カルガモ キジバト カワウ コチドリ トビ オオタカ カワセミ コゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ メジロ ムクドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ (22種) 朝方は肌寒かったが、探鳥会が始まるころには強烈な日差し。ときおり吹く風が爽やかで心地良い。草陰に休むカワセミは、色がくすんでいて幼鳥か。水分を補給し、木陰で休みながらの探鳥。オオタカが真上に飛来し、じっくり観察。コチドリも予想通りの水田に。(浅見 徹)

7月7日(日) 群馬県板倉町 渡良瀬遊水地

参加: 28(会員28)名 天気: 曇

キジ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ ヨシゴイ アオサギ ダイサギ ホトトギス コアジサシ ミサゴ トビ オオタカ ハヤブサ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ウグイス オオセッカ オオヨシキリ コヨシキリ セッカ ムクドリ スズメ カワラヒワ ホオジロ (28種) (番外: ドバト) 先ずは谷中湖でコアジサシを探してからヨシ原を目指しているとホトトギスの声と姿。第1調節池ではオオセッカとコヨシキリをじっくり観察。気温は上がり順調に進んだので、ウォッチングタワー経由のフルコースを歩いた。(佐野和宏)

7月14日(日) 室内講座「野鳥の羽」

参加: 43(会員43)名

天気が悪い日々が続いて、このところ鳥見ができなかったせいが大盛況。パワーポイントによる基礎講座のあと、実際の羽根を見ながらの学習や羽拾いのエピソードで盛り上がった。(菱沼一充)

7月20日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 13名

相原修一、宇野澤晃、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、佐久間博文、志村佐治、藤掛保司、松村禎夫、三ツ矢正安、吉原早苗、吉原俊雄

7月21日(日) さいたま市 三室地区

参加: 30(会員23)名 天気: 曇

キジ カルガモ キジバト カワウ アオサギ
ツミ オオタカ カワセミ オナガ ハシボソガ
ラス ハシブトガラス シジュウカラ ツバメ
ヒヨドリ メジロ ムクドリ スズメ カワラヒ
ワ ホオジロ (19種) (番外: ドバト) 鳥が少な
い季節ならではの楽しみもある。それは幼鳥や家
族連れを観察。もう親に餌をもらえなくなったハ
シボソガラスの幼鳥や単独で餌を探すスズメの幼
鳥の様子をウォッチングした。スズメの幼鳥は、
すぐ近くをランナーが通っても逃げやしない。い
つまで人間を信用してくれることやら。遠くの看
板にオオタカのペアの姿。彼らの子どもたちが、
三室の空を羽ばたく日も近い。 (小林みどり)

7月27~28日(土~日) 長野県 乗鞍~上高地

参加: 23(会員23)名 天気: 27=豪雨、28=曇

乗鞍: イワヒバリ (1種) 上高地: オシドリ
カルガモ キジバト ホトトギス アマツバメ
トビ コゲラ カケス ハシブトガラス コガラ
ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ウグイス メ
ボソムシクイ ゴジュウカラ キバシリ ミソサ
ザイ カワガラス コマドリ コサメビタキ キ
ビタキ キセキレイ セグロセキレイ ホオジロ
(25種) 台風6号が接近。乗鞍(豊平)に到着
した時には、横殴りの雨。お花畑でクロユリの群
生と魔王岳でコマクサを見るのが精一杯。上高地
に到着したときは雨も本降り。翌朝は、雨も上が
りネイチャーセンター付近で早朝探鳥。朝食後、
明神へ行った。途中、お目当てのコマドリを近く
でじっくり。昼食は、名物の岩魚の塩焼き定食。
帰りの道中でオシドリ等見た参加者もいた。穂高
連峰を見られなかったのが残念。 (入山 博)

7月28日(日) 狭山市 入間川

参加: 14(会員12)名 天気: 晴

カルガモ キジバト カワウ ササゴイ アオサ
ギ オオタカ カワセミ コゲラ オナガ ハシ
ボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ツ
バメ ヒヨドリ メジロ ムクドリ スズメ ハ
クセキレイ ホオジロ (19種) (番外: ドバト)
熱中症が心配だが、朝あまり気温が高くなかつた
ので、実施した。入間川は増水し、鳥が降りる浅
瀬がない。今年はササゴイが出ない年になるなど
思ったら、なんと下流から飛んできて少し先に舞
い降りた。 (長谷部謙二)

8月3日(土) 鳥の消しゴムはんこを作ろう Young

参加: 13(会員8)名

消しゴムはんこ作家の「紫乃さん」を講師に迎え、
Young&親子中心に消しゴムはんこを作った。まずは
講師のレクチャーのもと、鳥のシルエットはん
こを作る。彫り方にけっこうコツが必要だったが、
参加者の技術習得が早い! 後半は用意されたはん
こを彫ったが、その後、上手な参加者の方々はオ
リジナルのハンコを彫り始めていた。(廣田純平)

8月4日(日) 北本市 石戸宿

猛暑のため中止。

(吉原俊雄)

8月11日(日) 千葉県習志野市 谷津干潟

参加: 38(会員30)名 天気: 晴

カルガモ オナガガモ カイツブリ ハジロカイ
ツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ
チュウサギ コサギ ダイゼン メダイチドリ
キアシシギ ソリハシシギ イソシギ キョウジ
ヨシギ ウミネコ コゲラ オナガ ハシボソガ
ラス ハシブトガラス シジュウカラ ツバメ
ヒヨドリ エナガ メジロ オオヨシキリ ムク
ドリ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ (31種)
(番外: ドバト) 猛暑のためアオサが枯れてし
まったが、シギ類は少ない。カワウの追い込み漁
が見られた。 (杉本秀樹)

8月17日(土) 千葉県 ふなばし三番瀬海浜公園

参加: 24(会員22)名 天気: 晴

カワウ アオサギ ダイサギ コサギ ダイゼン
メダイチドリ オオメダイチドリ ミヤコドリ
オオソリハシシギ チュウシャクシギ アオアシ
シギ キアシシギ キョウジョシギ ミユビシギ
ウミネコ セグロカモメ オオセグロカモメ コ
アジサシ ムクドリ スズメ ハクセキレイ (21
種) (番外: ドバト) 暑さ指数は12時が厳重注意
であったので、時間を短縮して開催した。浜辺に
出ると潮風のおかげで大分楽になった。干潟はす
でに広がっており、干潟の中に入って観察した。
最初に目につくのはミユビシギの群れ、メダイチ
ドリ、ダイゼン、キアシシギ、オオソリハシシギ
が混ざっている。その中にオオメダイチドリを見
つけて盛り上がる。ミヤコドリは立ち入った人
のおかげで飛ばされてしまったが、沖合のコアジサ
シの群れで救われた。 (菱沼一充)



●台風 19 号で被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます

公益財団法人日本野鳥の会(本部)会員室から 10 月 17 日付けで、当県など 1 都 13 県の連携団体(支部)に、台風 19 号による被害に遭われた方に対するお見舞いのメールが届き、「被災された会員の方で、全壊・半壊・避難などでご自宅に住むことがかなわない場合には、一年間の(本部)会費免除の対応をさせていただきます」とのこと。支部会費についても、お申し出のあった場合には早急に対処したいと考えています。

甚大な被害の中での会費免除はあまりにもささやかなものですが、会としてのせめてものお見舞いの気持ちとお受け取りいただければありがたく思います。

該当する方は「E-mail:gyomu@wbsj.org/ TEL:03-5436-2631/ FAX:03-5436-2635/ 担当:会員室 猪沢、佐藤」まで、ご自宅の被災状況、会員番号、お名前、ご住所、ご連絡先(お電話番号かメールアドレス)をご連絡ください。

既にメールアドレスのある埼玉役員たち約 40 名に本部からのメールを転送し「心当たりのある場合は連絡を」と呼びかけましたが、11 月 2 日現在、該当する情報は埼玉事務局に寄せられていません。

ご自宅に住むことがかなわない会員をご存知の方は、この情報をお伝えいただけますよう、よろしく願います。

●会員の普及活動

10 月 28 日(月)、令和元年度第 2 回越谷市

環境審議会に山部直喜が出席し、「埼玉県東南部地域生物多様性ガイドライン」の活用について意見を述べました。

●会員数は

11 月 5 日現在 1,582 人です。

活動と予定

●10 月の活動

10 月 12 日(土) 11 月号校正(海老原教子、海老原美夫、佐久間博文、志村佐治、長嶋宏之)。

10 月 20 日(日) 役員会(司会:千葉秀男、2019 年 10-12 月行事予定の一部変更、2020 年 1-4 月行事予定、など)。

同日 pdf 化した 11 月号を本部総務室に送信して全国配布を依頼した(海老原美夫)。

10 月 21 日(月) 『野鳥』誌と同封発送しない会員向け『しらこぼと』11 月号を郵便局から発送した(海老原美夫、山部直喜)。

●12 月の予定

12 月 7 日(土) 編集部会、普及部会(午後 4 時から)。

12 月 14 日(土) 1 月号校正(午後 4 時から)。

12 月 15 日(日) 役員会(午後 4 時から)。

12 月 21 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。

編集後記

ラグビーW杯は日本中を沸かせた。1976 年、まだアパルトヘイトがあった南アフリカのスタジアムで、ニュージーランドのオールブラックスと南アチームの試合を見る機会を得た。また 3 か月間の滞在中、ヘビクイワシやミナミジサイチョウなども、たくさんの野生動物とともに見る事が出来た。なつかしい。(山口)

しらこぼと 2019 年 12 月号(第 429 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
郵便振替 00190-3-121130 URL http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org
編集部への原稿 yamazekuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org
住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番 23 号 丸和ビル
(公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社